

## 平成 23 年度第 1 回経営審議会議事録

平成 23 年度第 1 回公立大学法人宮城大学経営審議会	
日 時	平成 23 年 6 月 24 日（金）午前 10 時から午後 12 時 10 分まで
場 所	宮城大学大和キャンパス 本部棟 4 階 応接会議室
出 席 者	西垣理事長、佐藤副理事長、大和田理事、井上理事、佐々木理事、弦本副学長、阿部委員、堀切川委員、加藤委員
欠 席 者	大山委員、佐藤委員、上田委員
事 務 部 等	園部理事、加藤理事、千葉事務部長、菊田参事兼総務課長、小山学務課長、真山参事兼総務学務課長、新妻財務課長、財務課辻市
議事概要	<p>1 議事録署名人の選任 阿部委員及び佐藤副理事長が選任された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 22 年度事業実績報告について 資料 1 により説明され、委員から次のような質問があり、それぞれ説明された。</p> <p>① 評定が C で、今年度も C から評価をあげるのが困難と思われる項目はあるかとの質問があり、卒業生のキャリア開発支援等、任期制及び年俸制の導入については難しいと考えている旨説明があった。</p> <p>② 食産業学研究科博士課程の申請取下げの理由について質問があり、食産業学の学問体系が認識されていないことから、養成すべき人材像をうまく説明できず、設置審査における是正意見を重く受け止め、申請取下げということとなったとの説明があった。</p> <p>③ 平成 23 年度から入学者の県内枠が廃止されたが、その経緯について質問があり、優秀な学生を広く獲得するための方策であるが、県内の高校への広報活動等は引き続き積極的に行っており、今年度は県内入学者比率はほとんど低下していないとの説明があった。</p> <p>④ 次に、今回の大震災に係る県内市町村の復興への協力について要望があった。</p> <p>以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。</p> <p>(2) 平成 22 年度決算について 資料 2 により説明され、委員から次のような質問があり、それぞれ説明された。</p> <p>① 剰余金と運営費交付金との関係について質問があり、県の財政状況によると思われるが、運営費交付金は中期計画どおりの金額が交付されると思われる。剰余金については、施設の老朽化への対応や法人化に伴う内部留保の充実に活用していきたいと考えている旨説明があった。</p> <p>② 外部研究資金獲得額の学部別の割合について質問があり、概算で食産業学部が 5 割、看護学部が 2 割、事業構想学部が 3 割となっていると</p>

の説明があった。また、教員は、震災により市町村等への支援業務が増えているが、兼業等で表面に出ない形での支援業務も多くあるので、これらの震災復興関係の地域貢献度から運営費交付金が減額されないように主張するという方法もあると思うので、教員の活動状況を調査してみてはどうかとの意見があった。これに対し、本学では震災の記録としての活動記録の作成及び人事労務の面から職務状況の調査を実施することとしているとの説明があった。

以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。

(3) 学長選考会議委員の選出について

資料3により経営審議会選出の委員が1名空席となっているとの説明があり、審議の結果加藤委員が選出された。

2 報告事項

(1) 震災復興支援について

資料4により報告があった。

(2) 「公立大学法人宮城大学教員の任期及びテニユアに関する規程」及び「公立大学法人宮城大学教員のテニユア・トラック制への移行に関する規程」の全面凍結、公立大学法人宮城大学教員評価・組織評価要綱の全面見直しについて

資料5により報告があった。

(3) 平成22年度教員選考結果、常勤教職員数、法人事務部職員採用計画について

資料6により報告があった。

(4) 平成23年度入試実績について

資料7により報告があった。

(5) 平成22年度就職実績について

資料8により報告があった。震災以降の留学生の状況はどうか、との質問があり、中国や韓国の留学生は戻らずに休学状態となっている学生が多い旨説明があった。

(6) H23年度第1次補正予算について

資料9により報告があった。

この議事録は、平成23年度第1回公立大学法人宮城大学経営審議会の議事録である。

平成 23 年 6 月 24 日

公立大学法人宮城大学

経営審議会議長 西垣 克

議事録署名委員 阿部博之

議事録署名委員 佐藤廣嗣